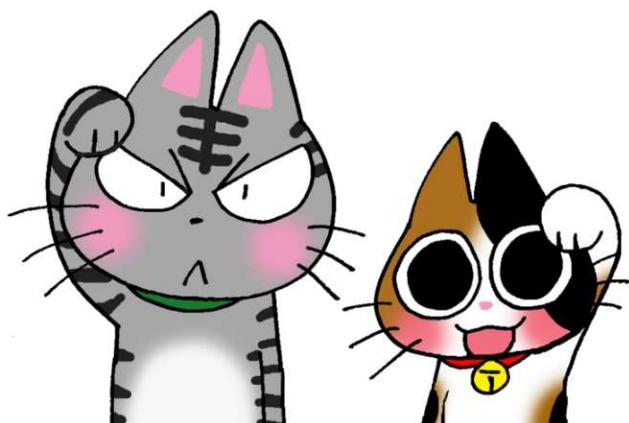


岩手日報社

クリッピング契約代行導入に 伴う諸活動

2026年2月20日

JRRC意見交換会@虎ノ門
コンテンツ事業部 岩井 幸恵



岩手日報社公式キャラクター「イワさんとニッポちゃん」

広告

掲載：

4月～3月末までに15回を予定

頻度：

参考見積の提示時期に合わせて重点投下

内容：

「正しく使うメリット」を強調

活用：

広告紙面を営業ツールとして利用

岩手日報の記事をコピーして 日常業務で回覧していませんか？

コピーして情報共有するには
クリッピング契約が
必要です

新聞記事や写真には「著作権」が存在するため
無断で使用すると著作権侵害になります

クリッピング契約とは？
新聞記事を組織内で継続的に複製して利用するために、新聞社と締結する契約のことです。

便利な新機能が増えました！

- 有料オプションを追加することにより、共同通信が配信する記事も利用できます。
- クリッピング契約団体に限り、岩手日報デジタル版から記事を複製して利用できます。

※デジタル版ご利用の際には、別途お申込みが必要です。

個別の申請が不要
契約範囲内でコピーを社内共有できます。

リスクをなくす
著作権侵害による社会的信用を損なうリスクがありません。

クリッピング、記事・写真利用についてのお問い合わせ
岩手日報社コンテンツ事業部

電話 ▶ 019-601-4646 (平日9時～17時)
Mail ▶ chosakuken@iwate-np.co.jp



営業

- DM作戦（未契約団体向け）

実施時期：6月～7月（予算策定のタイミング）

送付件数：約300件（企業・団体含む）

結果：数件（問合せの動き～訪問）

- 共同通信オプション

「迷わず使える」利便性をPRし、利用範囲の拡大

契約手続き代行の効果

～2年目の委託～

業務自体は安定運用を継続中

課 題： 営業活動への時間活用

事務効率化で確保した時間の「有効な活用方法」を模索中

契約団体実績

- 2021年度 19団体
- 2022年度 21団体
- 2023年度 22団体
- 2024年度 23団体
- **2025年度 25団体**

自治体：4
出先機関：12
企業（鉄道・製造など）：5
その他（大学・医療系検査機関など）：4

（年度途中 鉄道系企業1件増）
うち、共同通信OP希望 9団体

【今後の目標】

急激な増加を追うのではなく、地域に根ざした「地道な継続営業」により、着実に契約件数を積み上げていく。